

お忙しくても、約2分間で読めます

山内公認会計士事務所

ハートフル・ワード (心からの言葉)

TEL 098-868-6895
FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

成功したのは良心的に仕事してきた結果である 鳥井信治郎（1899年、「鳥井商店・現サントリー」）創業者

1. 私の方で、ウイスキーを始めることになったのは、第1次大戦後です。洋酒を作るには、第一、水の便が良くてはいかん。それから霽（もや）が酒の仕込みにいいということも聞いた。それで、今の山崎がいいということになった。あそこは、木津川、桂川、淀川の三つが合流しているから朝霽もかかる、水質もいい、交通も便利だということです。ウイスキーの本場であるスコットランドのローズシモンの水に似ている。
2. 私は善因善果、悪因悪果ということを仕事のモットーにしております。良心的な仕事をすれば、長い間には、その事業は栄えるものです。現在の株主は、全部店の人で、配当しなくても賞与で承知してくれる。しかし、公開するとなれば配当しなければならない。そのために無理に儲けようとすると、酒の質が落ちる。
3. それが怖いから公開しません。洋酒の会社は、内部蓄積を怠ると、直ちに、将来の品質に関係してくるもので、私どもは、儲けは極力、ウイスキーの貯蔵に充てる方針は変えません。回顧すると、洋酒事業が成功したというのも、常に良心的に仕事してきた結果だと思っています。（参考：「週刊ダイヤモンド」2025年10月25日）

経営者のための理念・哲学

人間の人間たる根拠に良能・良知がある**田口佳史（東洋思想研究家）**

1. 孔子はどちらかといえば、忠恕（ちゅうじょ）や仁など慈愛を強調した人ですが、孟子は、義を重視し「仁義礼智」の四徳の発揮を主張しました。『孟子』は、したがって自己の人間としての在り様を明確にしたいと言う欲求には、打ってつけの指導書なのです。
2. その中に「良能・良知なり」『孟子』という名言があります。人間の人間たる根拠に「良能」と「良知」があり、これらは生まれながらに与えられているものと言っているのです。良能とは、「能」とは物事をなし得る力ですが、修練訓練によらず、これを持っているのが人間である。更に、良知とは、自然に物事を知る力ですが、これも人間であれば既に保持しています。
3. どの様な時代であれ、世の中が混乱、混迷してくると、基準、規範が求められてきます。それは、規範である道理や道義にくらい人が多くなり、正しい判断に迷う人が多くなるからでしょう。孟子が亡くなって1千7百～8百年経って、この「良知」が復活します。「良知即（すなわ）ち是（こ）れ天理」と言い、「良知吾が心の本体」とも言う。人間の心と天理は、良知によってつながっているのです。（参考：「致知」2025年12月号）

人事労務について

働き手がお勧めする企業は「4つのP」を備えている

1. 働き手が勤務経験のある企業を評価「自分の勤務先に就職・転職することを親しい友人や家族にどの程度勧めるか」という質問）に対して、結果を分析したデータがあります。近年、企業が重視するエンゲージメント（働きがい）と近い考え方だが、総合的な従業員の満足度や働きやすさ、社風などがより考慮されているといえる。
2. 例えば、いかに待遇が良く、愛社精神にあふれた会社であっても、必ずしもオススメ度は高くない。その企業が信賞必罰に基づく出世競争が激しく、労働時間もハードな職場であれば、競争に勝ち残った当人は満足しても第三者に勧めづらいことも考えられるためだ。「働きやすさ」「待遇」「人事制度の透明性」などの総合的な観点で環境が整っている企業こそ、オススメ度が高くなると考えていい。
3. また、いずれの企業も従業員が組織に求める『4つのP』を備えている。4つのPとは理念(Philosophy)、事業(Profession)、風土(People)、特権(Privilege)だ。

（参考：「日経ビジネス」2025年10月13日号）

古典に学ぶ

初めて発心した時、悟りが完成している

1. 「初発心（しょほっしん）の時に、便（すなわ）ち正覚（しょうかく）を成ずること、よろしくそれしかるべし。『秘蔵宝鑰』。
2. 「華嚴経（けごんきょう）」というお経には、「初めて発心（悟りを志すこと）した時、すでに悟りが完成している」と説かれています。この経文を引いて「まさにその通りである」と空海がいつている一文です。

（参考：名取芳彦監修「空海 道を照らす言葉」：河出書房新社）